

サーキットイベント

「モーターファンフェスタ 2024 in 富士スピードウェイ」に会員 33 社及び JAWA 事業部が出展

4月21日（日）・富士スピードウェイ



ワンデーイベントで 25,310 人を動員



オリジナルトートバッグが人気でした

試乗や体験などのアクティブコンテンツが人気のサーキットイベント「モーターファンフェスタ（MFF）2024 in 富士スピードウェイ」が4月21日（日）、富士スピードウェイで開催され、ワンデーイベントで25,310人の動員を達成致しました。

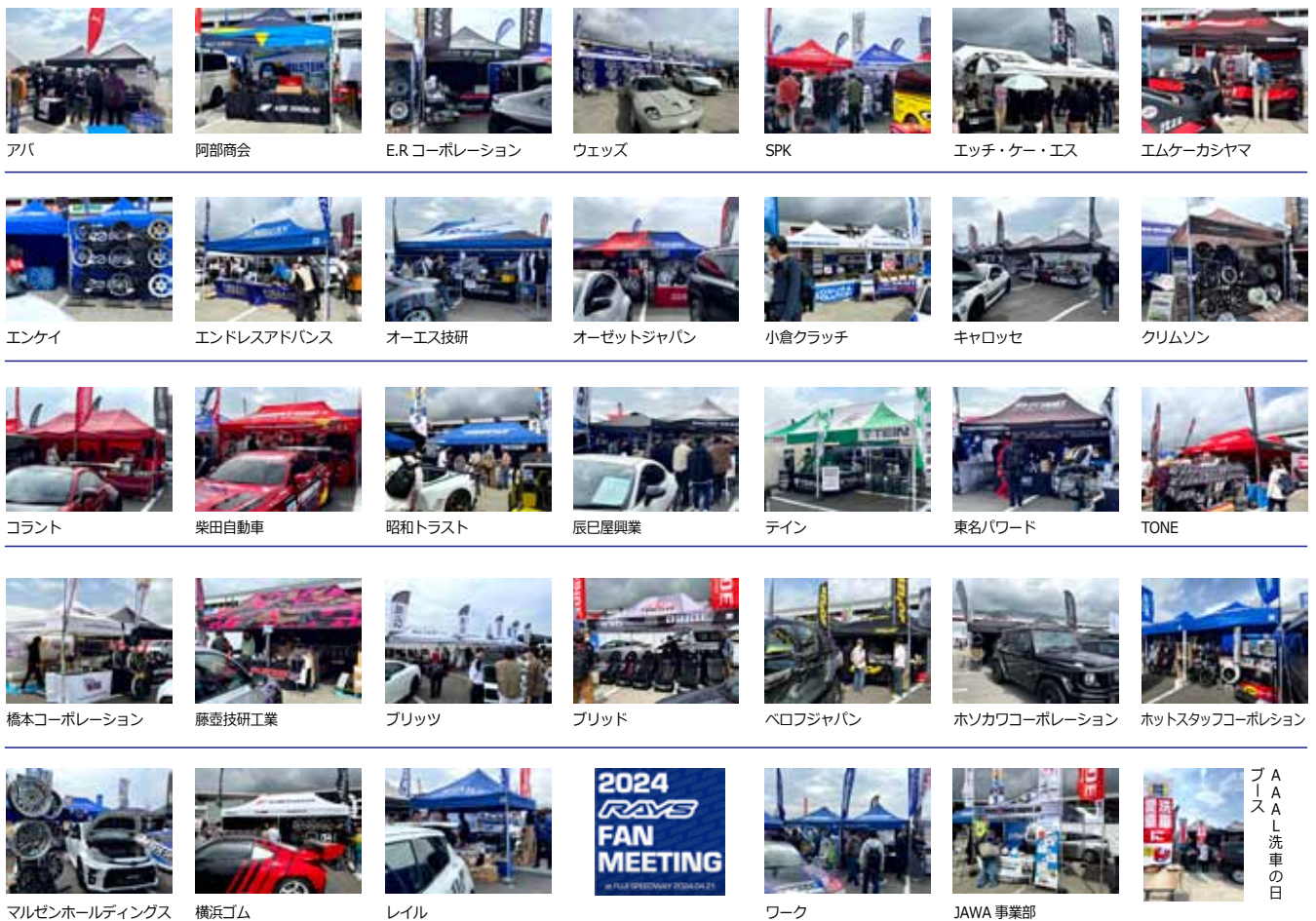
春のサーキットイベントとして定着したMFFは、国内自動車メーカー及び輸入車インポーターの参加が拡大。試乗・同乗車両数は4輪車で137台と、前回の91台を大幅に更新。様々なタイプのクルマが試せるイベントとしての性格がより強くなった印象でした。

一方で自動車用品・関連メーカー & ショップの参加が93

社（前回110社）とボリュームダウン致しました。そうした中、当会会員の出展は前回比110%の33社と拡大致しました。

会員ブースでは、来場者に向けて様々なカスタマイズパーツや、ドレスアップ & チューンナップ向けのアルミホイールが展示され、ファンはもとより、これからクルマをカスタムしてみようと考えているユーザーにアピールしました。

また JAWA 事業部では公式 SNS の拡大を目的にプレゼント企画を展開。オリジナルトートバッグの人気が高く、嬉しい悲鳴となりました。なお、AAAL の洗車の日委員会が参加し、プレゼント付きアンケートを展開致しました。



リクルートイベント

東日本大学自動車部新歓フェスタに会として参加

4月20日(土)・富士スピードウェイ



当会としてはじめ会員に開催をアナウンスしました大学自動車部を対象としたリクルートイベント「東日本大学自動車部新歓フェスタ」(主催・自動車部新歓フェスタ実行委員会)が4月20日(土)、富士スピードウェイ・ショートコースで開催されました。

本イベントは大学単位で各ブースを回り、1社7分程度の持ち時間で各社の担当者が学生に対して自社PRを行ったもので、学生、出展社とも年々増えているとのこと。当会からは視察を含めて数社が初参加致しました。

会員全体講習会

**「NAPACカンファレンス2024」
大阪会場を開催**

4月25日(木)・TKPガーデンシティ新大阪

NAPACカンファレンス2024の大阪会場が4月25日(木)に新大阪駅前のTKPガーデンシティ新大阪で開催され、大阪会場に申し込んだ会員54人が講習に参加致しました。

東京会場に続き開催されたカンファレンスは中嶋敬一郎会長(共豊コーポレーション)の挨拶の後、JASMA事業部講義、JAWA事業部の主要講義、基調講演は東京と同じ構成で実施。ASEA事業部講義については、大阪会場ではTONE(株)の村上誠一郎戦略営業室室長による「日本の産業とインフラを支える工具メーカーのモータースポーツへの取り組み」となったほか、JAWA事業部の寺田孝佳事業副部長(エンケイ)による「ホイール発売元になることの責任の重要性」が追加講義されました。

終了後の懇親会は、柳田春人副会長(セントラル)の乾杯のご発声でスタート。終始和気藹々とした雰囲気で行われ、会員相互の親睦が図られ、田中知加副会長(ワーク)の中締めで終了しました。大阪会場の運営にご協力頂きました関係各位に御礼申し上げます。



大阪会場も基調講演として「CV(共有価値の創造)とSDGs」を講義



ASEA事業部は演目が変わりTONE(株)の村上誠一郎室長が工具メーカーが支えるモータースポーツについて講義



JAWA事業部は演目が追加され寺田孝佳JAWA事業副部長(エンケイ)がホイール発売元の責任について講義



乾杯のご発声前に挨拶する柳田春人副会長(セントラル)



懇親会で中締め一する田中知加副会長(ワーク)



講習終了後の懇親会は和気藹々とした雰囲気で行われ、活発な情報交換が行われました。